

モダナイゼーションを推し進める ファイナンスサービス ご紹介

モダナイゼーション・ファイナンス・サービス
ご紹介

2024年12月

富士通株式会社



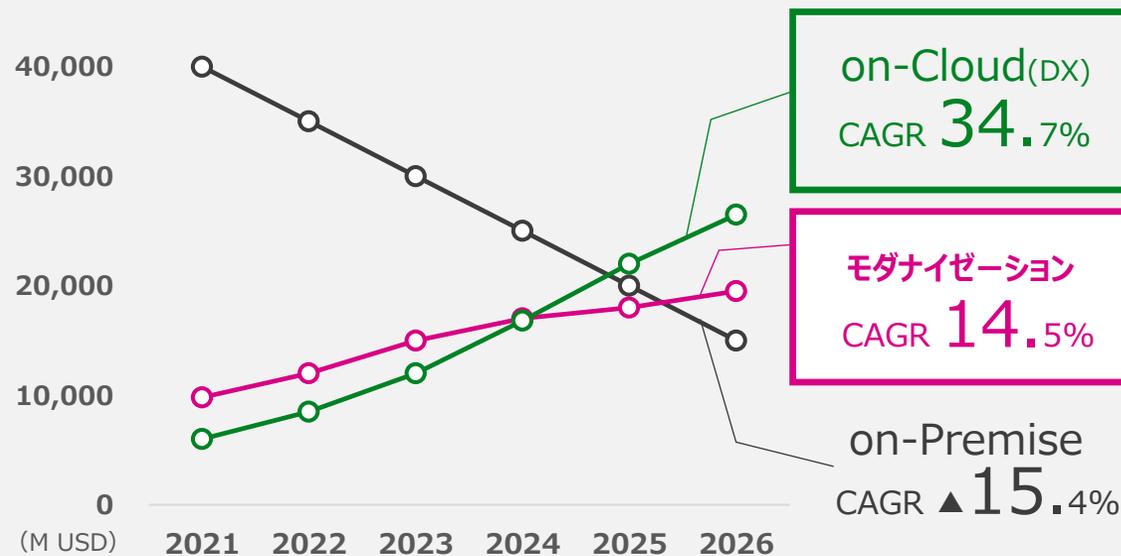
情報システム最新化のためのモダナイゼーション需要が拡大

モダナイゼーションとは、既存のシステムに蓄積された情報資産を活用しつつ**システム構造を変革**することを指し、「リライト」「リホスト」「リビルド」「パッケージ適用/サービス移行」といった手法があります。

メインフレーム・UNIXサーバは規模縮小し、モダナイゼーション・On-Cloud（DX）が拡大

国内モダナイゼーション市場動向

- 経済産業省DXレポート提唱による「**2025年の崖**」が迫る中、お客様がDXに取り組む先駆けとして**既存情報システムの最新化（モダナイゼーション）の需要が増加**
- メインフレーム等のレガシーシステムやオンプレミスでのオープンサーバのシステム稼働形態から**クラウドシフトが加速**
- クラウド普及の増加に合わせ、2026年にかけて**モダナイゼーションのマーケット規模は成長**



Source:調査会社各社のデータを基に富士通にて推計

お客様がモダナイゼーションを推進する際の課題

お客様がモダナイゼーションを推進するにあたっては、既存システムが抱える課題に加えて、
推進する人材やコストなど、幾つかの課題を解決していく必要があります。



既存システム

- 資産も多く、規模も大きい
- システム間連携が複雑すぎて、難易度が高い
- サポート期限切れが迫っている



人材

- 既存システムの仕様を理解している要員がない
- ToBeを描き、プランニングできる人材がない



コスト

- 効果が計りづらい
- モダナイゼーションに対する予算確保が難しい

富士通は、モダナイゼーションに向けて山積するお客様の課題を解決し、ビジネス変革をサポートするべく、**コンサルティングやUvanceと連動するEnd to Endの先進的なモダナイゼーションソリューションをご提供しております。**

コンサルティング

**Fujitsu
Uvance**

モダナイゼーション

方針立案・グランドデザイン

業務分析・資産可視化

モダナイズ
(要件定義 / 設計 / 構築 / 開発 / テスト)

モダナイゼーション
コンサルティング

資産分析・可視化サービス

リビルド

リライトサービス

AWS Blu Age

Fujitsu PROGRESSION

リホスト

モダナイゼーション・ファイナンス・サービス

モダナイゼーションの検討段階におけるコスト面の課題（例）

モダナイゼーションを進めるにあたり、コスト面で様々な課題に直面することが多く見られます

初期



検討
状況

ほぼ未検討

課題

まずは単純更改を進めるが、**お客様社内稟議のハードルが高い**

中期



検討
状況

概要スケジュールは確定したが、完了までにハードウェア更改が必要

課題

- ①必要となるハードウェアリソースの見極めまで**短中期のつなぎ環境が必要**
- ②**移行期間が変動しても無駄なコストは発生させたくない**

完了期



検討
状況

移行先、移行方針がほぼ確定

課題

- ①**初期費用が予算オーバー、または年度利益を圧迫**
- ②移行後のシステムは長期利用を想定。**償却期間と利用予定期間がアンマッチ**

コスト面の課題に対する解決のポイント

モダナイゼーションの各検討段階におけるコスト面の課題

初期

- お客様社内稟議のハードルが高い

中期

- 短中期のつなぎ環境が必要
- 移行期間が変動する

完了期

- 初期費用がオーバー
- 年度利益を圧迫
- 償却期間と利用予定期間がアンマッチ



解決のポイント

- 一括払いではなく、**任意の期間で支払いを平準化**することで、キャッシュフローの負担を軽減
- 新システムの**費用負担開始をシステム切り替え時に**することで、旧システムの費用の二重払いを回避
- **資産ではなく経費処理扱い（オフバランス^{*1}）**にすることで、経営指標の改善を見込むことが可能

このような取り組みにより、**お客様社内の稟議ハードルが下げられる**場合があります

*1：最終的なご判断はお客様の経理部、監査法人様のご判断によります

これらはモダナイゼーション・ファイナンス・サービスによって解決できます

モダナイゼーション・ファイナンス・サービスとは



多岐にわたる複雑な契約を一本化し、お客様の状況に合わせた柔軟な支払い方法の提供により、変革を後押しするサービスです

本サービスの 実現スキーム

- 富士通と東京センチュリーまたはFLCSで結成した「共同企業体」より、ワンストップのサービスをご提供。
- サービス契約は、お客様と共同企業体代表幹事としての富士通の2者間で締結。
- 東京センチュリーまたはFLCSが月額サービス料のご請求・回収業務を担う。
また、サービス提供に必要な機器やライセンス等の調達を実施。



月額サービス契約

【お客様⇔共同企業体代表幹事（富士通）】

月額サービス料のお支払い

【お客様→東京センチュリー/FLCS】

サービス提供共同企業体



【富士通株式会社】

- 契約
(共同企業体代表幹事)
- サービス全体マネジメント

- モダナイゼーションサービス
デリバリ
- 保守、運用、サポート提供



【東京センチュリー株式会社】
【FLCS株式会社】

- モダナイゼーションサービス料の請求・回収
- モダナイゼーションに関する費用のサービス化

リースとモダナイゼーション・ファイナンス・サービスの違い

		購入	レンタル	ファイナンスリース	モダナイゼーション ファイナンス・サービス
契約形態		売買契約	レンタル契約	リース契約	労務契約
会計 処理	B/S	オンバランス	オフバランス	オンバランス	オフバランス ※1
	P/L	減価償却	レンタル料を 費用処理	減価償却 + 利息	サービス利用料を 費用処理
物件の選定		自由に選定可能	レンタル会社 保守在庫から選定	自由に選定可能	自由に選定可能
資産の所有に伴う 事務処理・コスト負担		お客様	レンタル会社	リース会社	共同企業体 ※2
契約の一本化		×	○	○ (保守や運用は原則別契約)	◎ (保守運用も全て含む)
費用の平準化		×	○	○	◎ (開発/構築費用も含む)
利用期間		長期	短期	中長期 (法定耐用年数による制限有)	自由に設定可能
トータルコスト 単純な調達費用総額での比較 ※3		◎ (借入金利負担除く)	△	○ (金利、資産管理コスト込)	○
資産の所有ニーズ		○	-	-	-

※1 最終的なご判断はお客様の経理部、監査法人様のご判断によります。

※2 原則、期間終了時のラック取外し費用や返送費用はお客様負担となります。返却までの手続きもサービスに包括したい場合は事前にご相談ください。

※3 単純な調達費用総額で比較した場合。実際には保険や産廃費用、固定資産税等の資産管理コストが月額の中に含まれます。

モダナイゼーション推進時に発生するコスト面の様々な課題を解決、プロジェクトを後押し



特長 1

すべての初期費用平準化

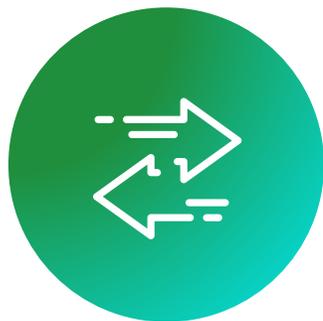
ハードウェア、ソフトウェア、ライセンスなど、初期費用を平準化することで、高額な初期費用の負担によるキャッシュフロー悪化を防ぐ



特長 3

契約窓口・支払い一本化、 管理業務負荷の軽減

複数の仕入れ先との契約窓口・支払いの一本化を実現することで管理業務の作業負荷を軽減



特長 2

新旧システム費用の 二重支払い回避

新システムの費用発生を、システム切り替えのタイミングに合わせることで、新旧システム費用の二重支払いを回避する



特長 4

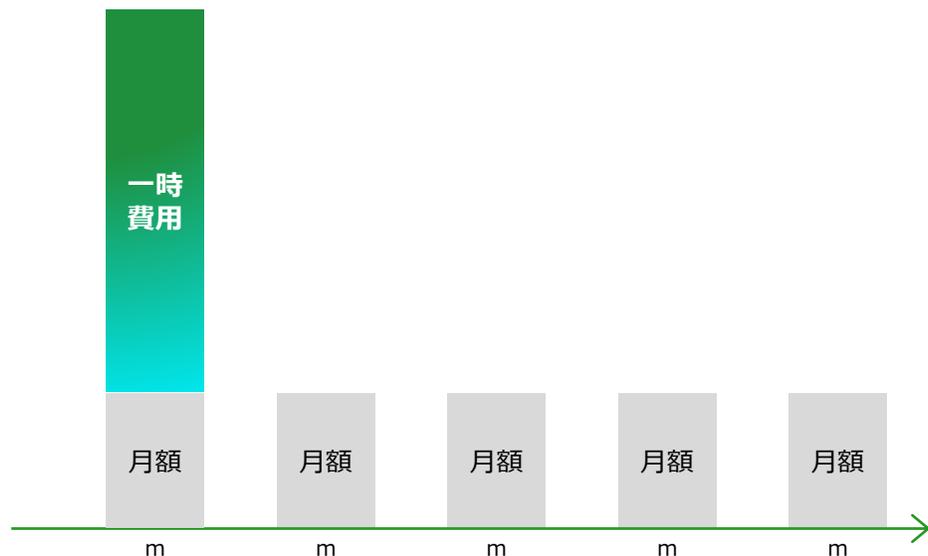
現行システム費用の 段階的な減額請求

モダナイゼーションの移行計画に合わせた可変の費用設定により、段階的に費用を減額することが可能

特長①すべての初期費用平準化

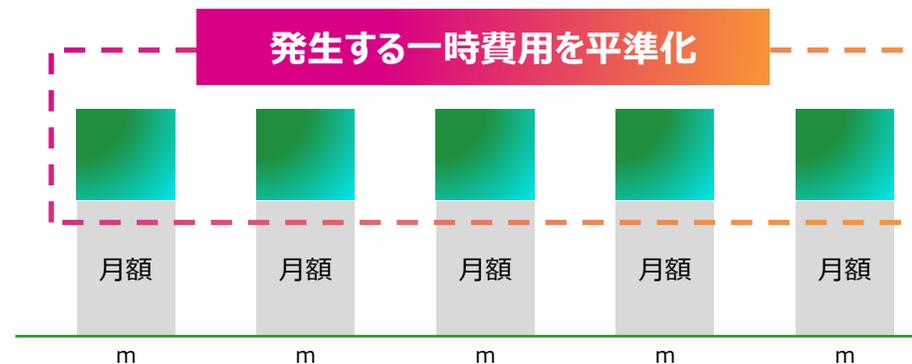
Before

- ハードウェア、ソフトウェア、ライセンスなど、システムのモダナイゼーションに伴う初期費用に対しては基本的に一括払いが必須



After

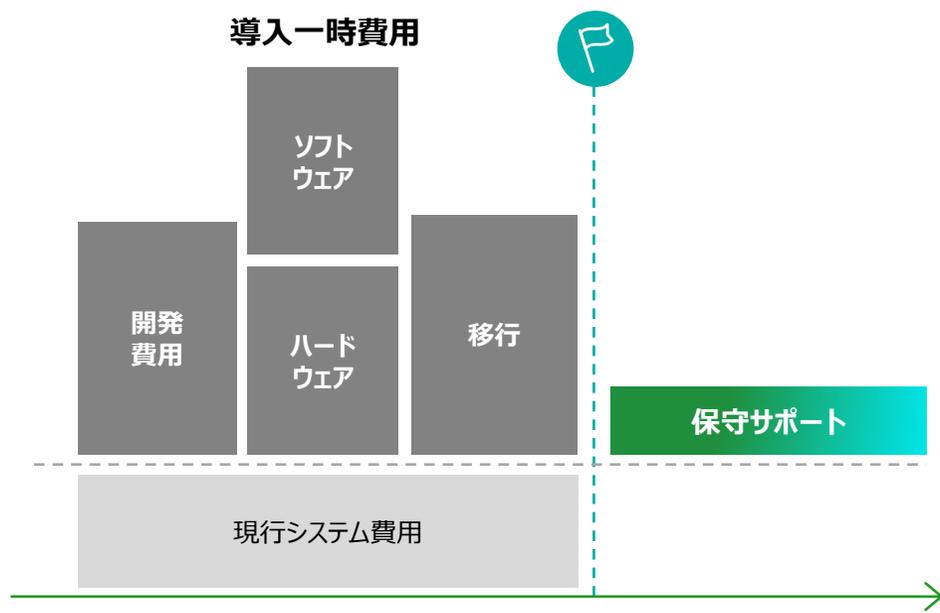
- モダナイゼーションに伴う初期費用を平準化(月額化)することで、高額な初期費用の負担によるキャッシュフローの悪化を防ぐことが可能に



特長② 新旧システム費用の二重支払い回避

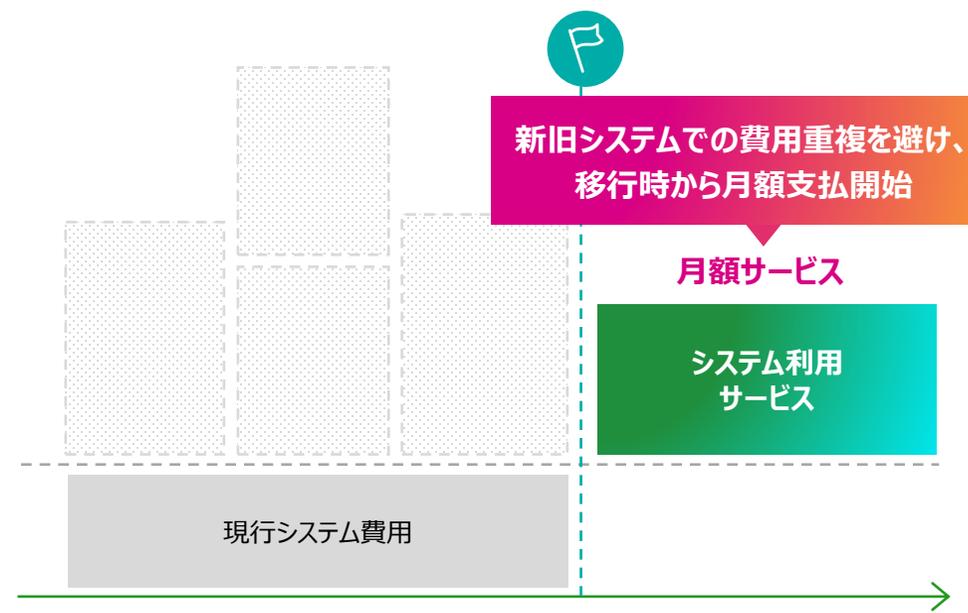
Before

- 新システムへの移行費用は、**作業発生時に都度請求**されており、**現行システムの運用費用**と**新システムへの移行作業費用の二重支払い**が発生していた



After

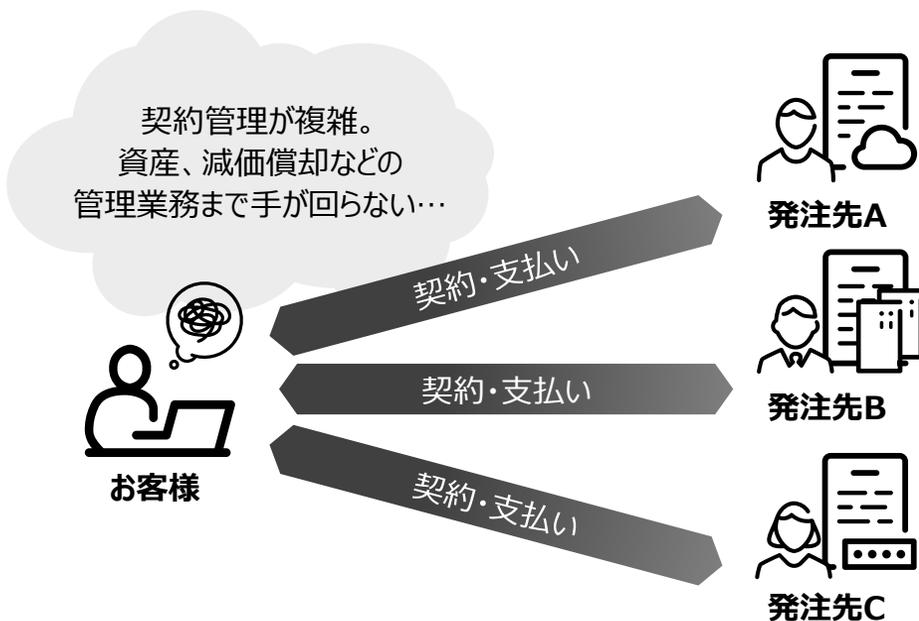
- 新システムへの移行にかかる費用を、**新システムのカットオーバー後から支払い開始**とすることで、**新旧システム費用の二重支払いの回避が可能**に



特長③ 契約窓口・支払いの一本化、管理業務負荷の軽減

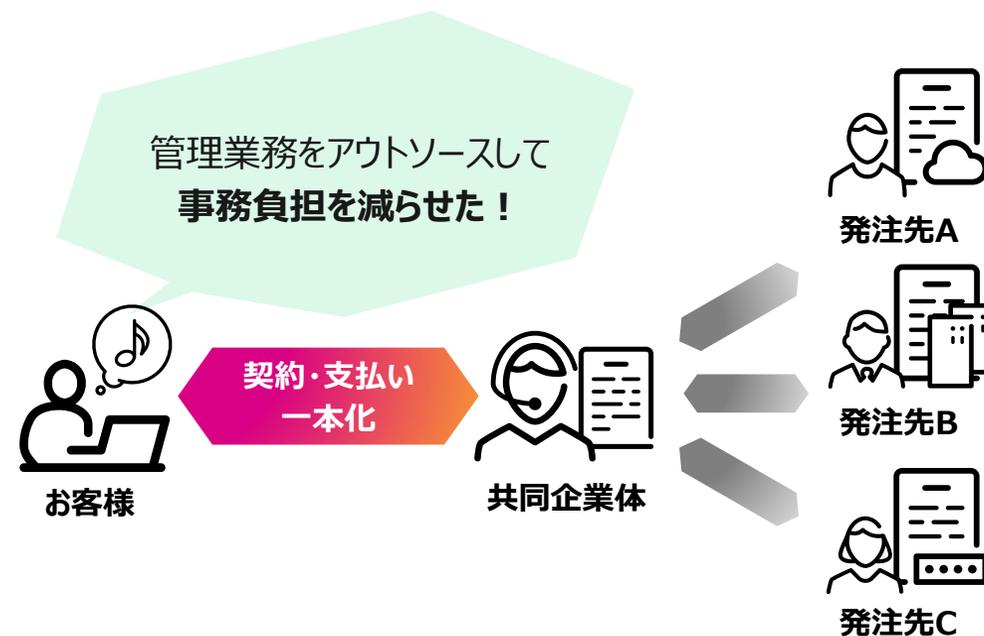
Before

- 機器の調達やシステム開発など発注先が複数になることから、契約や資産、減価償却といった**管理業務が煩雑化し、多大な時間を要している**



After

- 契約窓口・支払いの一本化**を実現することで、**管理業務の作業負荷を軽減**することが可能に



特長 ④ 現行システム費用の段階的な減額請求

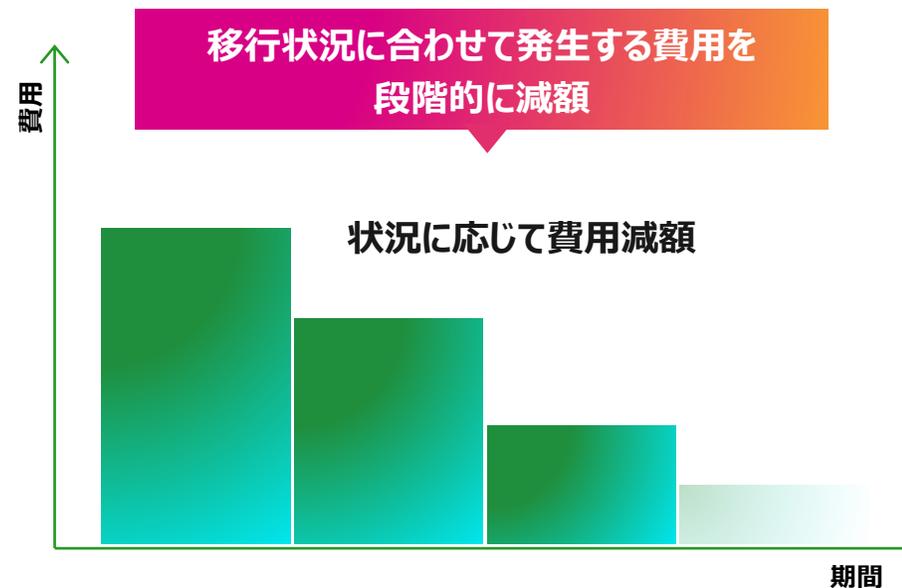
Before

- 現行システムは移行工程ごとの細かな発注や検収が難しいことから、全期間固定金額での契約が主流となっている



After

- モダナイゼーションの**移行計画に合わせた可変の費用設定により**、段階的な費用減額が可能に



Road to 3X

Modernization

富士通の豊かな知見を束ねた、モダナイゼーションが示す道
DX SX GXまで伴走します。

Fujitsu Modernization

Road to 3X

富士通のモダナイゼーションは、様々なデータを、目的を持って一つのデータに束ねることで新たな価値を生み出す道を示します。

そして、富士通はDXだけではなく、SXやGXまで、お客様の事業を将来にわたって拡大していくために伴走を続けます。

Appendix

① サービスの対象にできるものに制限はありますか？

ハードウェアやライセンスの他、**SI、SDKパック、コンサルなども対象**となります。

ただし原則として「共同企業体が所有するシステムを、月額（年額）サービスとして提供する」という形態になるため、継続的に利用していただくものの方が好ましいです。（単発コンサルなどのみの場合は相談ください）他に**再販が不可能なもの**もサービスとして提供することが出来ない場合がございます。個別の案件ごとに、都度確認させていただきます。

② 成果物（システム）の知財の所有権はどうなりますか？プログラムの追加・修正が必要な場合の対応が気になります。

サービスの性質上（共同企業体が所有するシステムを、サービスとして提供する）、原則として**知財の所有権は共同企業体**に属します。

ただしサービス期間満了後に、お客様に所有権が移行する契約にすることも検討可能です。

プログラムの追加・修正についてはサービス仕様書内で取り決めを行うことが出来ます。

③ 万が一プロジェクトが遅延、とん挫した場合はどうなりますか？

対象となるサービス範囲や、遅延・とん挫の原因などにより、対応が異なります。お客様側が起因となったプロジェクト遅延の場合は**月額費用の増額**で対応させていただきます。（1か月遅れた場合は、月額費用を x x 円増加など、契約締結前に決定します）

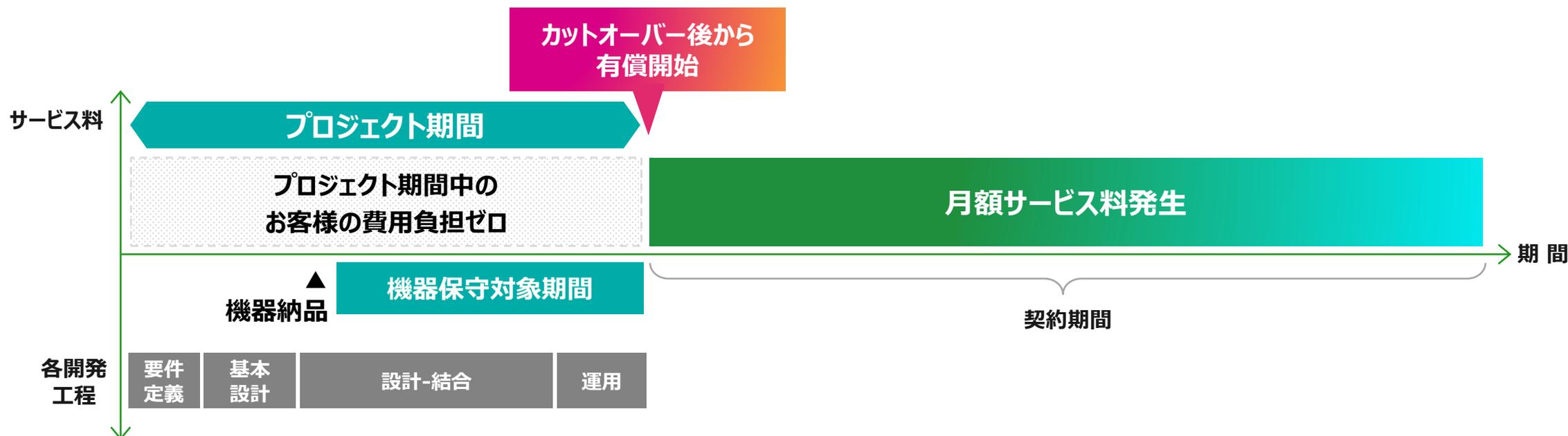
万が一とん挫した場合は、既に発生している費用についてのみ頂戴いたします。

本サービススキームの注意点

- 富士通とFLCSで結成した共同企業体より、ワンストップの月額サービスをご提供いたします。
- モダナイゼーション・ファイナンス・サービス契約はお客様と共同企業体代表幹事：富士通の2者間で締結いたします。
- 富士通が共同企業体の幹事となり、全体マネジメント、モダナイゼーションを実施し、FLCSがお客様への月額サービス料のご請求、回収業務を担います。
- サービス期間はお客様のシステムご利用期間に応じて設定可能ですが、サービス期間は拘束させていただきます。
(中途解約時は解約金が発生します。)

注意事項等

- プロジェクト期間中、機器納品・各開発工程完了からカットオーバーまでの間、お客様の費用負担はありません。
- プロジェクト完了後のカットオーバー時より、月額サービス料のお支払いが開始します。
- ハードウェア・ソフトウェアの納品が完了した際、お客様より「サービス実施準備完了確認書」をご提出いただきます。万一プロジェクト期間中に中途解約となった場合、同書ご提出分のサービス料全額を解約金としてお支払いいただく条件となります。
- プロジェクト開始後、カットオーバーが当初予定より遅れた場合は、月額サービス料を事前協議のうえ合意した率にて増額いたします。



モダナイゼーション・ファイナンス・サービス 提供実績



お客様	プロジェクト概要	金額 (単位：百万円)
産業A社様	ホスト更改に関する初期費用および延長保守を見込んだ際の増額保守費用の平準化を実施	50
産業B社様	ホスト更改に関するネットワーク機器の平準化ニーズに対応	30
流通業C社様	アプリケーションの運用・保守や管理を行うサービスの初期費月額化ニーズに対応	1,800
流通業D社様	各システム導入における初期費用(SI)に対する新旧システム費用の二重支払い回避ニーズに対応	500
流通業E社様	ホスト更改に関する一括費用平準化 (ハードウェア、保守、SI) ニーズに対応	500
流通業F社様	従量課金(トランザクション)、新旧システム費用の二重支払い回避ニーズに対応	400
金融業G社様	ホスト更改に関する一括費用(ハードウェア、保守、SI)平準化、新旧システム費用の二重支払い回避ニーズに対応	6,100

Thank you

